

令和3年度補助金等支出明細書

一般財団法人 日本食生活協会

1. 補助金等の名称	感染症予防事業費等補助金(地域の健康増進活動支援事業)		
2. 事業の目的及び内容	全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト～ 食育からメタボ予防へ そしてフレイル・介護予防へ ～		
(1) 目的	<p>健康日本21(第2次)では「健康寿命の延伸」と「健康格差」の縮小を目標に掲げ、令和3年度より最終評価を行うとしている。しかし、令和元年国民健康・栄養調査では、国民の約4割が生活習慣の改善の意思がないという結果であり、最終評価に向けて「成長戦略フォローアップ2020」を発表し「健康寿命延伸プラン」と共に全世代で、「自然に健康になれる食環境づくり」の対策が求められている。</p> <p>また、このたびの新型コロナウイルス感染症拡大においては、外出自粛による運動不足等から心身機能の低下を招き、若者・働き世代であれば生活習慣病、高齢者の場合は人とのつながりと閉ざされてことによるフレイル・認知症の発症や進行が今後顕在化されてくるのではないかと懸念されている。</p> <p>講習会を企画する上では、感染症対策の基本となる「不要不急の外出自粛」「人が多く集まる機会を避ける」「会食を控える」といった行動が課題となるが、家族や仲間と調理体験することや共食は食育の原点でもあり、体験することで自然に身体にインプットされいわゆる「自然に健康になれる食環境づくり」そのものである。「新しい生活様式」を踏まえた、「講習会」と「家庭訪問」を融合した活動で持続可能な「自然に健康になれる食環境づくり」の啓発を図る。</p> <p>一方でコロナ禍においてライフステージに応じた課題はますます多様化しており、ライフステージに沿ったさらなる啓発が重要となるため、世代を「若者世代」「働き世代」「高齢世代」の三つに分け生活習慣の改善の「きかけづくり」の推進に取り組む。</p> <p>○若者世代は、高校生から大学生までを対象に朝食欠食等の偏った食生活は将来、生活習慣病を発症するリスクが高まる事や健康な身体を維持するためには、バランスの取れた食事を習慣化することが食事の楽しさに繋がる事等を伝える。</p> <p>○働き世代は、主に就労者を対象に実施する。共働き世帯や在宅勤務の増加で働き方が多様化し健康にも不安を感じるようになり、糖尿病や高血圧等の生活習慣病が心配される世代でもあることから講習会等で定期的な健康診断の薦めと共に体重測定や血圧測定の習慣化を推進し適正体重の維持や減塩・野菜摂取の大切さを伝え、生活習慣の見直しを推進する。</p> <p>○高齢世代では『メタボ予防からフレイル予防』への切り替えのタイミングや重要性を啓発するとともに、フレイル予防の3つのポイント「食事(低栄養予防)」「運動・身体活動」「人とのつながり(社会参加)」を伝え、中でも「人とのつながり」においては「シニアカフェ」や家庭訪問を積極的に行い誰一人「ひとりにしない」「ひとりにさせない」閉じこもりの解消に努める。</p>		
(2) 具体的な内容	<p>1) 運営委員会 事業の企画・運営等について協議した。</p> <p>2) 県協議会市町村単位説明会 各市町村協議会長を集め、事業の主旨を説明し理解を図り活動内容の共有・情報交換を行った。</p> <p>3) スキルアップ講習会 【若者世代】～朝食欠食の解消&食事バランス講座等の開催～ 高校生・大学生を対象に 朝食欠食等の偏った食生活は将来、生活習慣病を発症するリスクが高まる事や健康な身体を維持するためには、おいしく、楽しく、バランスの取れた食事を習慣化することが重要であることを伝えた。 全国325地区、10,803名が受講、2,702軒の家庭訪問を実施した。</p> <p>【働き世代】～適正体重・高血圧・減塩講座等の開催～ コロナ禍での外出自粛や在宅勤務で通勤時間が減少したこと等による運動不足等により生活習慣病への進行が心配されることから「適正体重の維持」や「減塩」の大切さを伝えた。 全国326地区、10,628名が受講、3,519軒の家庭訪問を実施した。</p> <p>【高齢世代】～シニアカフェの開催～ 長期化する外出自粛でフレイルへの進行が心配される中、参加人数を制限した「シニアカフェ」や「家庭訪問」で低栄養予防に加えてフレイル予防のための「運動・身体活動」「社会参加(人とのつながり)」の推進にも取り組んだ。 全国865地区、22,883名が受講、6,477軒の家庭訪問を実施した。</p>		
3. 交付実績額		58,749 千円(A)	
4. 補助金等における管理費			
(1) 人件費		0 千円	
(2) 一般管理費		0 千円	
(3) その他の管理費			
	内容	金額	
		0 千円	
		千円	
	合計	0 千円	
	合計	0 千円	
5. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
			0 千円
			千円
	合計		0 千円(B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	旅費	委員会・講習会旅費	3,131 千円
	消耗品費	講習会材料代他	22,834 千円
	印刷製本費	恒陽社印刷所他	28,121 千円
	通信運搬費	郵便他	2,166 千円
	借料及び損料	貸会場業者等	2,496 千円
	合計		58,749 千円
6. その他			
	内容		金額
			0 千円
	合計		0 千円
7. 再補助・再委託等の割合			0.0 % (B/A)

(注)千円未満は切り捨て